

ハートン通 「京都トレッキング系編」

～戦前まで活躍した

愛宕山ケーブル

山頂駅跡を訪ねて～



京都市左区の西北部に位置する「愛宕山(あたごせま)」(標高924m)。古来より火伏せの神様として京都の住民の信仰を集める。本能寺の変の直前に明智光秀が愛宕神社を参詣し、愛宕百韻を詠んだことでも知られる。昭和初期には愛宕神社参詣の足として、愛宕山鉄道や嵐山馬車から、もとまでの鉄道と山上までのケーブルカーを敷設し、併せてホテルや遊園地もある愛宕山遊園地が開かれ、観光客で賑わった。しかし、世界恐慌や戦争の影響で客足が落ち、第二次世界大戦末期にはケーブルカーが廃線になり、遊園地やホテルも閉鎖された。

- 京都市内から愛宕山ふもとまでのアクセスはいくつかあります。ここでは、京都バス「清滝」バス停から愛宕表参道を登る代表的なルート、JR保津峡駅から徒歩で水尾を経由し入山するルートを紹介し、いずれにしても往復4時間程度の本格的な「登山」となります。以下注意事項をご一読下さい。
- 入山は早めに。下山は遅くとも17時までには完了するように心がけて下さい。また、XINルートから外れないよう注意して下さい。
- カンザル、ヒールなどの軽装は竹かき元になるばかりでなく、遭難にもつながります。また、突然の雨・風にも対応できるようレインウェア、防寒具などを持参するなど、事前準備を怠らないようにして下さい。
- 登山中は携帯、スマートフォンはほぼ圏外で繋がりません。

ルート①【京都バスで終点「清滝」まで】
※本数が少ないのでご注意ください。



愛宕表参道の鳥居



八合目付近「水尾別荘」まで来ればケーブル山頂駅跡までもうすぐ!

ルート②【JR保津峡駅から徒歩で水尾を経由して】※保津峡駅から水尾まで自治体バスの運行あり。



JR山陰本線「保津峡駅」



「袖子の里」右京区嵯峨水尾



ついに到着! ケーブル愛宕駅の馬車舎跡。感動!



中は老朽化が激しいので、十分注意して!



霧田気のある階段。



山頂駅ホーム跡。地上2階、地下1階。



ケーブル線の線路跡。



トンネル跡。



ホテル跡に立てられた案内看板。



ホテルの玄関跡。



柱もいかりと残っています。



下から見上げると、立派な外壁が確認できます。



なんとホテル周辺には遊園地もあったそう。。。



少し足を延ばして愛宕山「三角点」。



地蔵山方面にあるスキー場跡。かつては90のスキーヤーで賑わっていたのでしょうか?!



春にはミツバツツジが満開に!



こちらモクレンが満開。(水尾にて。)



見事な桜! (水尾にて。)

最後に... 京都市内は繁華街から一時間ほど離れただけで、かなりの大自然が満喫できる魅力的な場所です。今回、紹介した愛宕山、水尾も京都市です。「寺社仏閣巡りにも飽きたな〜」と思っておられる京都通の方! 次回は登山靴、ウェア持参で、少しマニアックな京都旅を楽しんでみてはいかがでしょうか?!

⇒ 東山・北山・西山・京北とエリア毎に分けられたトレイル冊子「京都一周トレイル」もおすすめです! (登山用品店、書店で購入可能です。)